

第 2 回 大郷町地域公共交通協議会

# 高齢者外出支援事業「ふれあい号」の現状

# 事業概要：高齢者の足を支える基盤



## 利用対象・料金

町内住所の70歳以上で自力乗降可能な方。  
料金：年額 1,000円（12か月分）



## 配車形態・車両

1週間前～前日までの予約制。セダン・ミニバン  
（プリウス・シエンタ）2台で運用。



## 運送範囲

大郷町全域および近隣市町（大和・松島・利府  
・鹿島台）の指定目的地。



## 委託先・契約

(株)朝日観光に委託。年間契約額 約600万円強で  
推移。

## 地区別の利用登録と普及率の現状

地区名	対象人口	登録者数	普及率	月1利用者	アクティブ率
中村	400	33	8.3%	12	36.4%
吉ヶ沢	69	35	50.7%	6	17.1%
味明	158	22	13.9%	9	40.9%
羽生	196	21	10.7%	6	28.6%
長崎	142	16	11.3%	6	37.5%
下町	105	7	6.7%	4	57.1%
不来内	67	7	10.4%	3	42.9%
合計	2,377	217	9.1%	69	31.8%

※令和6年度データ：上位および主要地区を抜粋。吉ヶ沢地区の登録率が突出して高い傾向にある。

## 目的地別に見る高齢者の移動傾向

### 生活購買ニーズの集中

ウジエスーパー吉岡店（313件）、ヨークベニマル大和吉岡店（59件）など、大和町方面への買い物利用が極めて多い。

### 医療・通院の拠点化

公立黒川病院（271件）、ほそごえ整形外科（294件）、かとう眼科（153件）など専門医療への依存度が高い。

### 行政・金融インフラ

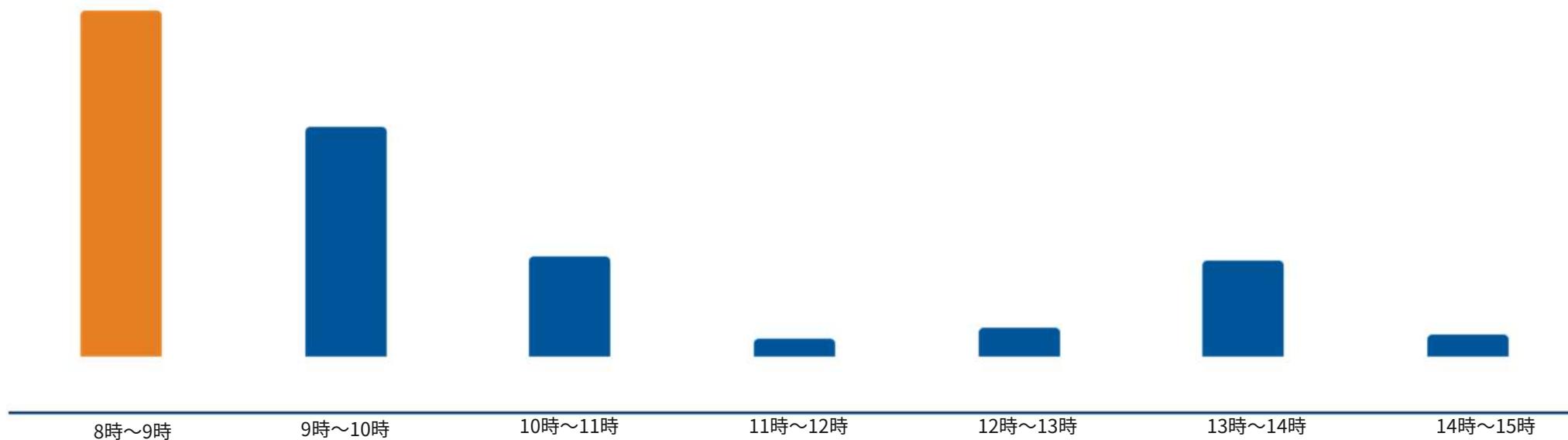
大郷郵便局（47件）、役場（16件）、JA大郷（23件）など町内中心部への移動も一定数存在。

#### 上位3位目的地（件数）

1. ウジエスーパー吉岡 (313件)
2. ほそごえ整形外科 (294件)
3. 公立黒川病院 (271件)

## 時間帯別利用パターン：午前集中型

出発時間帯別の利用回数 (R6 目的地別)



午前8時～10時の時間帯に全体の約70%の需要が集中している。

## 運行効率の現状：乗車密度の分析

1.11人

R6 平均乗車密度

(R5: 1.15人 → R6: 1.11人)  
1便あたりの乗車人数は微減傾向にある。

10.7%

R6 年間平均相乗り率

多くの便が単独乗車となっており、効率化の余地が大きい。

月別 (R6)	4月	7月	10月	1月	平均
乗車密度	1.10	1.11	1.15	1.24	1.14
相乗り率	9.2%	11.0%	12.9%	18.9%	12.8%

## 事業収支と町負担額の構成 (R6)

収支項目	金額 (年額)
総運行経費 (A)	7,190,386円
利用料収入 (B)	201,000円
その他の収入	0円
町負担額 (A-B)	6,989,386円

97.2%

公費(町)負担率

事業費の大部分が一般財源によって賄われており、持続可能な運行モデルの構築が急務である。

## 公費負担額と1人あたりコスト推移

1人1回あたりの町負担コスト（円）



【収支改善の兆し】 利用人数の増加（3,305人→4,573人）に伴い、1人あたりの単価は低下傾向。しかし依然として1乗車あたり1,500円以上の公費投入が必要な状況。

# 現状の課題

## 1. 低密度運行の常態化

乗車密度の1.11人は、タクシーと同様の運用であることを示しています。コスト削減には相乗りの促進が不可欠です。

## 2. 目的地の偏りと重複

大和町吉岡方面への需要が集中しているため、住民バスや民間タクシーとの役割分担の再定義が必要です。

## 3. 持続可能な財政負担

1人あたり約1,900円の公費負担を維持するための、効率的な予約管理システムの検討が求められます。